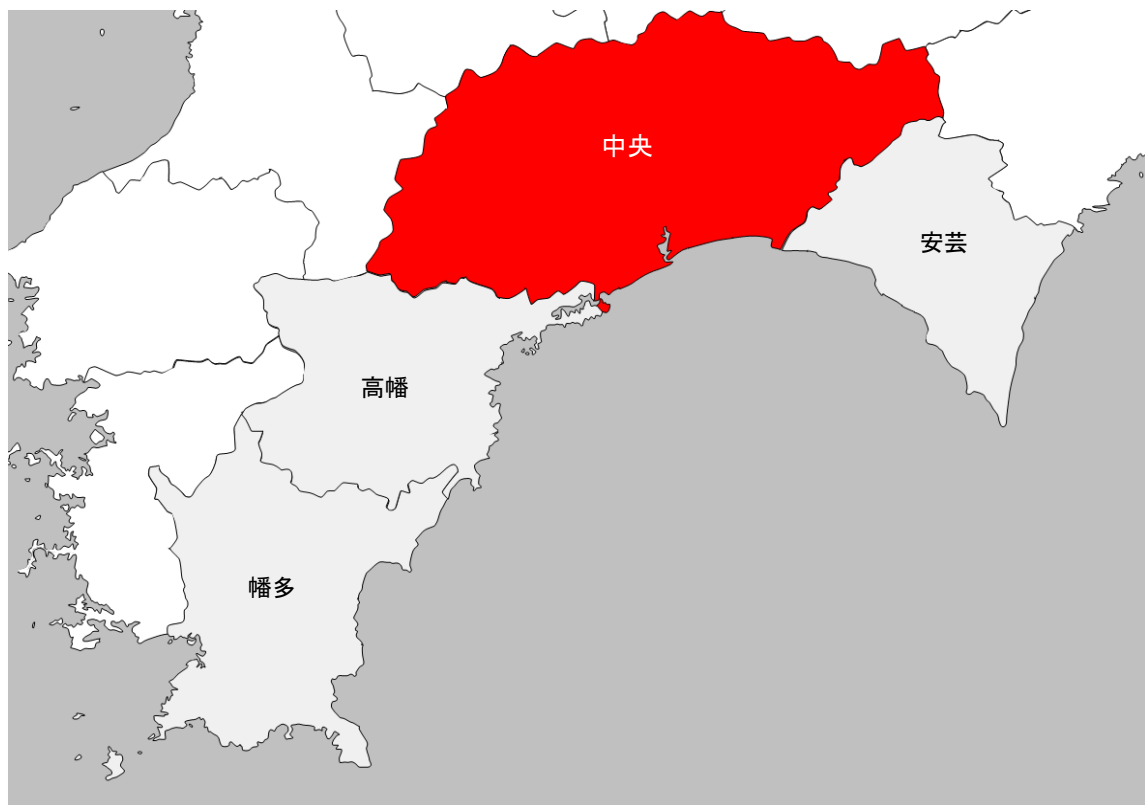


39. 高知県

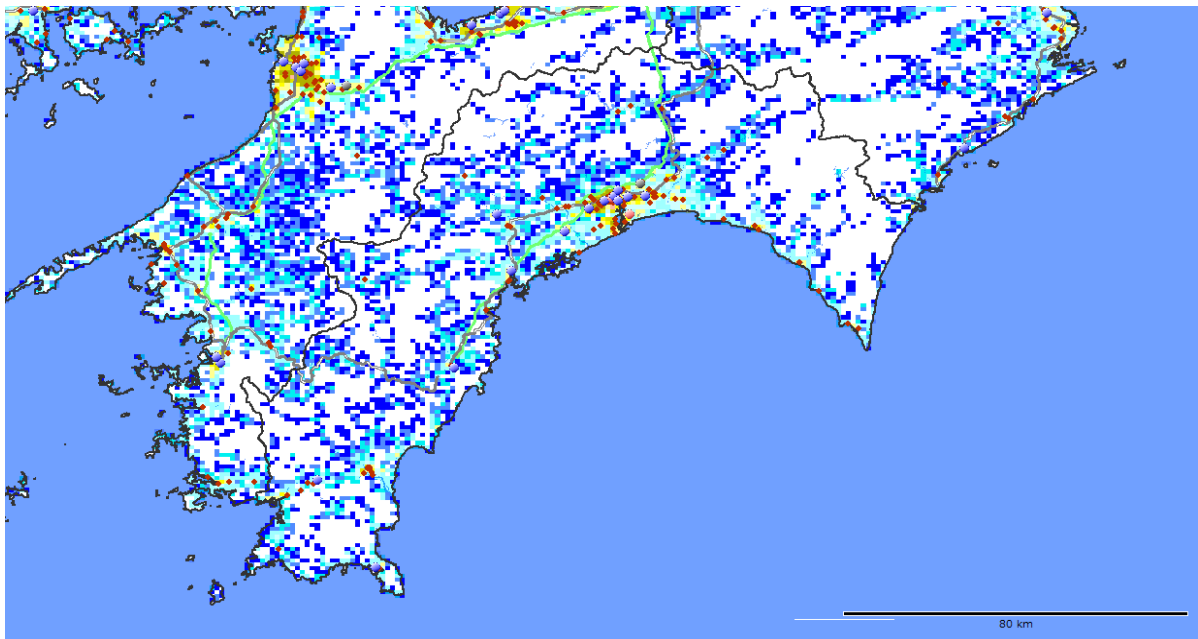


目次

高知県	39	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	39	-	8
1. 安芸医療圏	39	-	20
2. 中央医療圏	39	-	25
3. 高幡医療圏	39	-	30
4. 幡多医療圏	39	-	35

39. 高知県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(高知県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 高知県は、総人口約728千人(2015年)、面積7104km²、人口密度は103人/km²である。

***人口の将来予測：** 高知県の総人口は2025年に655千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に537千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の124千人が、2025年にかけて149千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には138千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 高知県の一人当たり医療費(国保)は402千円(偏差値63)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 高知県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.49、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が56(病院医師数62、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数は多いが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は72と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は82と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値85と非常に多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 高知県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13400人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8339床(偏差値55)、高齢者住宅等が5061床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10630人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設81、有料老人ホーム43、軽費ホーム75、グループホーム63、サ高住42である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1371人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

高知県の総人口は、2005年796292人が、2015年に728276人と9%減少し、2025年の人口が654741人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

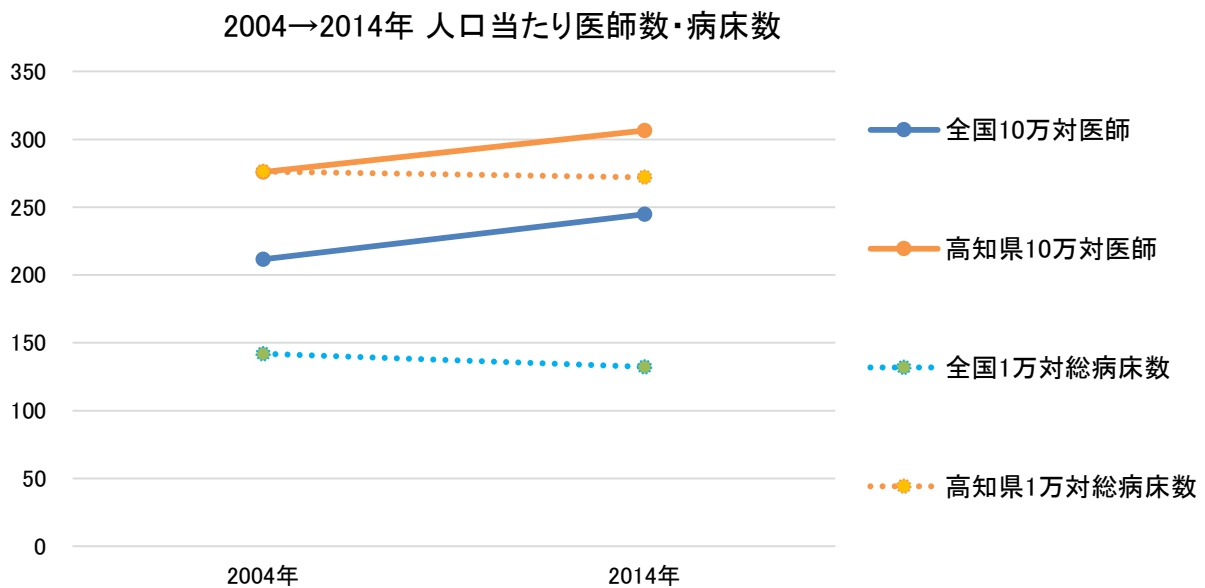
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が142(人口10万人当たり17.8病院(全国平均7.1)偏差値78)であったが、2014年に130(人口10万人当たり17.9病院(全国平均6.7)偏差値77)となり、10年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が602(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に569(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値50)と、33診療所が減少した。

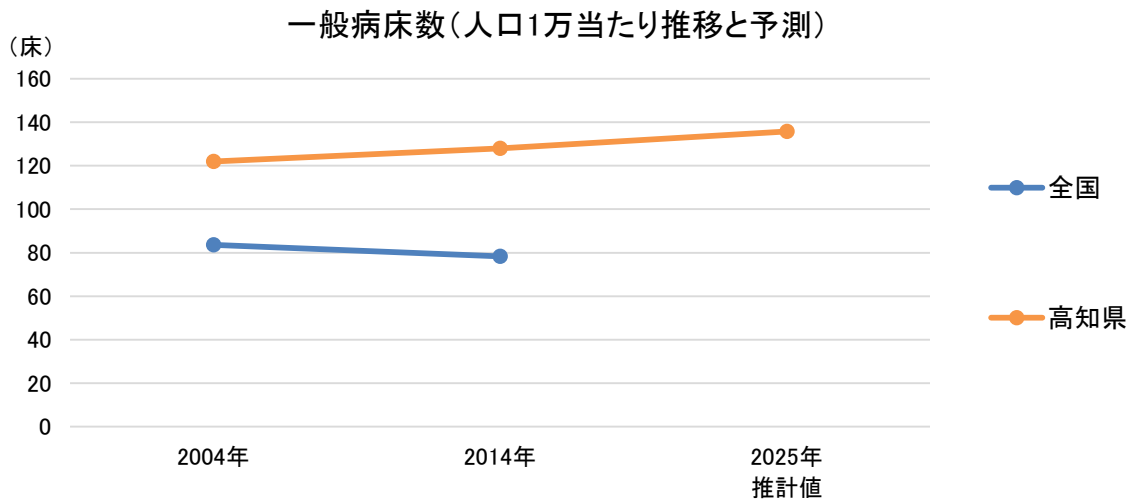
2004年の総病床数が21999床(人口1万人当たり276(全国平均142)偏差値74)であったが、2014年に19815床(人口1万人当たり272(全国平均132)偏差値75)と、2184床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2197人(人口10万人当たり276人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に2232人(人口10万人当たり306人(全国平均245人)偏差値57)と、35人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



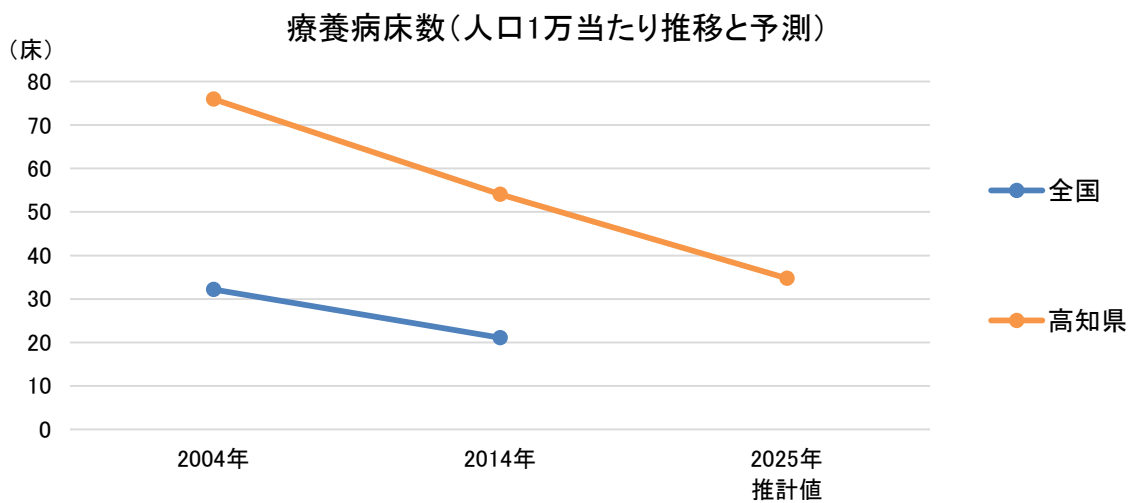
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9715床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に9323床(人口1万人当たり128(全国平均78)偏差値68)と、392床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8892床(2025年の推計人口1万人当たり136)になることが予想される。



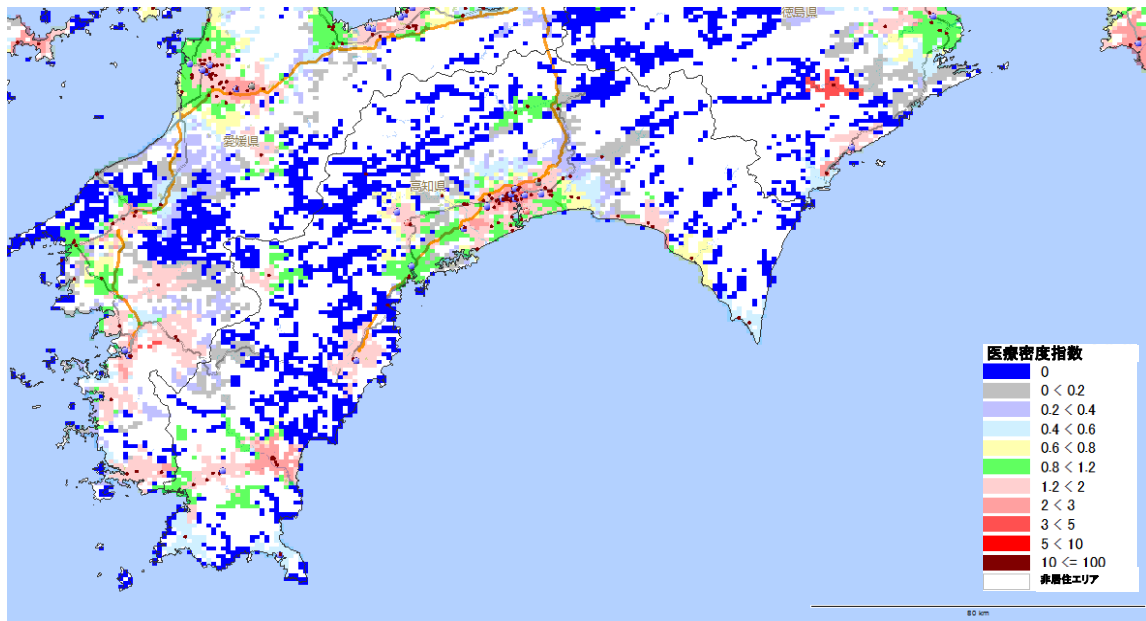
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8080床(75歳以上1000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2014年に6698床(75歳以上1000人当たり54(全国平均21)偏差値78)と、1382床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5178床(2025年の推計75歳以上1000人当たり35)になることが予想される。



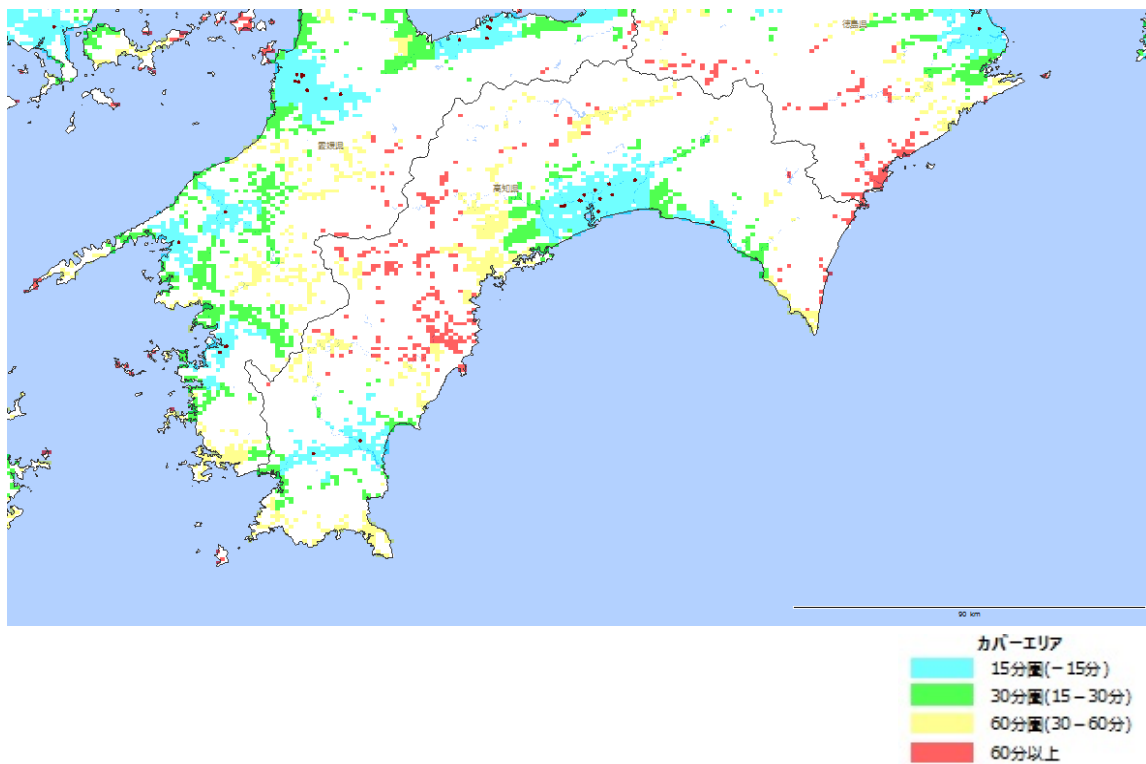
(高知県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表39-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 39-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
高知県	728	45位	7,104	18位	102.5		33%	655	537	124	149	138	-10%	-18%	20%	-7%
安芸	48	7%	1,129	16%	42.8	過疎地域型	41%	41	30	11	11	9	-15%	-27%	0%	-18%
中央	537	74%	3,008	42%	178.5	地方都市型	30%	492	415	83	104	99	-8%	-16%	25%	-5%
高幡	56	8%	1,405	20%	40.0	過疎地域型	40%	48	36	13	14	12	-14%	-25%	8%	-14%
幡多	87	12%	1,562	22%	55.6	過疎地域型	38%	75	56	18	20	18	-14%	-25%	11%	-10%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 39-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
高知県	1.49	3.70	12,366	12,114	2.0%
安芸	0.82	4.00	950	914	3.8%
中央	1.72	3.24	8,174	8,425	-3.1%
高幡	0.53	3.44	1,174	1,118	4.8%
幡多	1.13	1.39	2,068	1,656	19.9%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 39-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	402	63	1.123	178	66	1.310	200	56	1.019	268	54
安芸	463	77	1.285	197	72	1.425	243	80	1.232	286	59
中央	403	63	1.130	178	66	1.308	201	57	1.028	264	53
高幡	387	60	1.064	178	66	1.284	186	49	0.936	281	58
幡多	368	55	1.015	170	63	1.228	177	44	0.890	264	53
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表39-35を参照。

資_図表 39-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	131	1.5%	18.0	78	566	0.6%	78	49
安芸	7	5%	14.5	69	39	7%	81	51
中央	97	74%	18.1	78	420	74%	78	49
高幡	8	6%	14.2	68	42	7%	75	48
幡多	19	15%	21.9	87	65	11%	75	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月							

資_図表 39-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	566	0.6%	78	49	477	0.5%	65	46	89	1.1%	12.2	59
安芸	39	7%	81	51	34	7%	70	48	5	6%	10.3	56
中央	420	74%	78	49	349	73%	65	46	71	80%	13.2	61
高幡	42	7%	75	48	40	8%	71	49	2	2%	3.6	46
幡多	65	11%	75	48	54	11%	62	44	11	12%	12.7	60
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月											

資_図表 39-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
高知県	18,370	1.2%	2,522	76	1,443	1.3%	198	61	19,813	1.2%	2,721	75
安芸	941	5%	1,946	64	51	4%	105	52	992	5%	2,052	63
中央	14,520	79%	2,705	80	1,194	83%	222	64	15,714	79%	2,927	79
高幡	986	5%	1,755	61	38	3%	68	48	1,024	5%	1,823	59
幡多	1,923	10%	2,213	70	160	11%	184	60	2,083	11%	2,397	69
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 39-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
高知県	7,845	0.9%	1,077	66	6,761	2.1%	928	82	3,646	1.1%	501	61
安芸	349	4%	722	51	176	3%	364	55	411	11%	850	77
中央	6,315	80%	1,176	71	5,455	81%	1,016	86	2,668	73%	497	61
高幡	326	4%	580	45	442	7%	787	75	218	6%	388	56
幡多	855	11%	984	62	688	10%	792	75	349	10%	402	56
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 39-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
高知県	1,090	1.5%	150	69	842	1.4%	116	60
安芸	42	4%	87	56	45	5%	93	56
中央	875	80%	163	72	514	61%	96	57
高幡	88	8%	157	71	82	10%	146	66
幡多	85	8%	98	58	201	24%	231	81
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 39-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
高知県	3,915	3,446	187	12,481	4,294	4,710	44.5%	47	3.8%	48
安芸	270	175	0	635	174	140	50.1%	49	0.0%	46
中央	3,087	2,744	187	9,845	3,499	3,757	44.0%	47	4.7%	48
高幡	30	30	0	834	296	320	9.2%	32	0.0%	46
幡多	528	497	0	1,167	325	493	60.5%	53	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 39-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
高知県	21,336	0.8%	2,930	57	6,000	0.6%	824	51
安芸	384	2%	794	36	48	1%	99	25
中央	19,056	89%	3,549	63	5,172	86%	963	56
高幡	408	2%	726	36	0	0%	0	22
幡多	1,488	7%	1,713	45	780	13%	898	53
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 39-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
高知県	2,398	0.7%	329	56	1,792	0.8%	246	62	606	0.5%	83	44
安芸	119	5%	247	47	70	4%	145	46	49	8%	101	50
中央	1,960	82%	365	61	1,487	83%	277	67	473	78%	88	45
高幡	108	4%	192	41	73	4%	130	44	35	6%	62	37
幡多	211	9%	243	47	162	9%	186	53	49	8%	56	35
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 39-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
高知県	143	0.9%	19.6	61	74	0.6%	10.2	51	53	0.5%	7.3	47
安芸	5	3%	10.3	47	4	5%	8.3	47	1	2%	2.1	33
中央	129	90%	24.0	68	59	80%	11.0	53	48	91%	8.9	52
高幡	2	1%	3.6	37	2	3%	3.6	36	0	0%	0	28
幡多	7	5%	8.1	43	9	12%	10.4	51	4	8%	4.6	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 39-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
高知県	40	0.8%	5.5	56	54	0.6%	7.4	50	45	0.6%	6.2	51
安芸	2	5%	4.1	50	3	6%	6.2	46	3	7%	6.2	51
中央	36	90%	6.7	62	47	87%	8.8	54	39	87%	7.3	55
高幡	0	0%	0	30	2	4%	3.6	38	0	0%	0	27
幡多	2	5%	2.3	41	2	4%	2.3	34	3	7%	3.5	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 39-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
高知県	73	0.9%	10.0	60	135	0.7%	18.5	54	129	0.8%	17.7	63
安芸	7	10%	14.5	73	6	4%	12.4	45	7	5%	14.5	55
中央	55	75%	10.2	61	114	84%	21.2	58	104	81%	19.4	66
高幡	3	4%	5.3	47	9	7%	16.0	50	8	6%	14.2	55
幡多	8	11%	9.2	58	6	4%	6.9	37	10	8%	11.5	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 39-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
高知県	56	1.0%	7.7	66	52	0.8%	7.1	59	40	0.8%	5.5	55
安芸	2	4%	4.1	48	4	8%	8.3	64	1	3%	2.1	43
中央	47	84%	8.8	71	40	77%	7.5	60	36	90%	6.7	59
高幡	3	5%	5.3	54	2	4%	3.6	44	1	3%	1.8	42
幡多	4	7%	4.6	51	6	12%	6.9	58	2	5%	2.3	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 39-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
高知県	46	0.7%	6.3	54	9	0.6%	1.2	50	30	0.9%	4.1	59
安芸	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	7%	4.1	59
中央	42	91%	7.8	59	8	89%	1.5	53	27	90%	5.0	64
高幡	2	4%	3.6	45	0	0%	0	37	0	0%	0	35
幡多	2	4%	2.3	40	1	11%	1.2	49	1	3%	1.2	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 39-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
高知県	14	0.7%	1.9	53	31	1.3%	4.3	68
安芸	0	0%	0	37	2	6%	4.1	67
中央	14	100%	2.6	59	26	84%	4.8	73
高幡	0	0%	0	37	3	10%	5.3	77
幡多	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 39-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
高知県	10,964	1.0%	1,506	72	9,605	1.0%	1,319	75	1,359	0.7%	187	54
安芸	546	5%	1,130	59	448	5%	926	59	99	7%	204	57
中央	8,785	80%	1,636	77	7,736	81%	1,441	80	1,049	77%	195	56
高幡	530	5%	944	52	451	5%	803	53	79	6%	141	48
幡多	1,103	10%	1,269	64	971	10%	1,117	67	132	10%	152	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 39-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
高知県	2,074	1.6%	285	85	1,669	0.6%	229	50
安芸	114	5%	235	75	89	5%	184	45
中央	1,665	80%	310	89	1,368	82%	255	53
高幡	120	6%	214	72	78	5%	139	40
幡多	175	8%	202	69	134	8%	154	42
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 39-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
高知県	40	0.3%	0.3	38	15	1.2%	0.1	57	65	0.6%	0.5	44
安芸	5	13%	0.5	42	1	7%	0.1	53	6	9%	0.6	46
中央	31	78%	0.4	40	10	67%	0.1	57	48	74%	0.6	47
高幡	1	3%	0.1	33	2	13%	0.2	63	3	5%	0.2	30
幡多	3	8%	0.2	35	2	13%	0.1	56	8	12%	0.5	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 39-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
高知県	13,400	0.8%	108	53	8,339	0.8%	67	55	5,061	0.7%	41	49
安芸	978	7%	92	43	666	8%	63	51	312	6%	29	42
中央	9,108	68%	110	54	5,425	65%	66	53	3,683	73%	45	51
高幡	1,212	9%	95	45	870	10%	68	55	342	7%	27	40
幡多	2,102	16%	118	59	1,378	17%	78	63	724	14%	41	49
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 39-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
高知県	2,248	0.6%	18	42	4,024	0.7%	32	47	2,067	3.2%	16.7	81
安芸	220	10%	21	47	410	10%	39	54	36	2%	3.4	49
中央	1,362	61%	16	39	2,367	59%	29	44	1,696	82%	20.5	90
高幡	192	9%	15	37	538	13%	42	57	140	7%	10.9	67
幡多	474	21%	27	57	709	18%	40	55	195	9%	11.0	67
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
高知県	782	0.3%	6.3	43	837	3.6%	6.8	75	2,408	1.2%	19.4	63
安芸	34	4%	3.2	40	70	8%	6.6	74	180	7%	17.0	58
中央	578	74%	7.0	43	519	62%	6.3	73	1,652	69%	20.0	64
高幡	0	0%	0	37	70	8%	5.5	69	234	10%	18.3	61
幡多	170	22%	9.6	46	178	21%	10.0	91	342	14%	19.2	62
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	1,034	0.4%	8.3	42	0	0.0%	0	44	1,034	0.5%	8.3	42
安芸	28	3%	2.6	34	0		0	44	28	3%	2.6	34
中央	934	90%	11.3	46	0		0	44	934	90%	11.3	47
高幡	38	4%	3.0	34	0		0	44	38	4%	3.0	34
幡多	34	3%	1.9	33	0		0	44	34	3%	1.9	33
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 39-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	1,737	1.1%	14.0	66	1,476	1.2%	11.9	72	260	0.6%	2.1	42
安芸	91	5%	8.6	43	72	5%	6.8	47	19	7%	1.8	39
中央	1,215	70%	14.7	69	1,024	69%	12.4	74	191	73%	2.3	44
高幡	128	7%	10.0	49	111	8%	8.7	56	17	6%	1.3	34
幡多	303	17%	17.1	79	270	18%	15.2	88	33	13%	1.9	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
高知県	12,001	0.8%	97	55	10,630	0.9%	86	58	1,371	0.6%	11.1	45
安芸	1,032	9%	97	56	911	9%	86	58	120	9%	11.4	45
中央	7,915	66%	96	54	6,982	66%	84	57	933	68%	11.3	45
高幡	1,105	9%	86	47	1,006	9%	79	52	99	7%	7.7	39
幡多	1,949	16%	110	65	1,730	16%	97	68	219	16%	12.3	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
高知県	6,548	0.6%	53	46	1,790	0.4%	14	39	9,940	0.7%	80	46
安芸	570	9%	54	46	143	8%	13	38	803	8%	76	45
中央	4,803	73%	58	47	1,352	76%	16	40	7,289	73%	88	49
高幡	410	6%	32	39	125	7%	10	35	719	7%	56	39
幡多	765	12%	43	43	170	9%	10	35	1,129	11%	64	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
高知県		796,292	728,276	-9%	654,741	-18%	2%	-1%	1%
安芸	過疎地域型	58,340	48,350	-17%	40,549	-30%	-5%	-10%	-14%
中央	地方都市型	570,302	536,869	-6%	491,685	-14%	4%	2%	6%
高幡	過疎地域型	66,373	56,173	-15%	47,794	-28%	-4%	-6%	-10%
幡多	過疎地域型	101,277	86,884	-14%	74,713	-26%	-3%	-4%	-6%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 39-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
高知県	142	17.8	78	130	17.9	77	-12	-8%	117
安芸	8	13.7	67	7	14.5	69	-1	-13%	6
中央	106	18.6	80	96	17.9	77	-10	-9%	85
高幡	8	12.1	63	8	14.2	68	0	0%	8
幡多	20	19.7	83	19	21.9	87	-1	-5%	18
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 39-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
高知県	602	76	50	569	78	50	-33	-5%	533
安芸	41	70	47	41	85	53	0	0%	41
中央	437	77	50	422	79	50	-15	-3%	406
高幡	51	77	50	41	73	47	-10	-20%	30
幡多	73	72	48	65	75	48	-8	-11%	56
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 39-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
高知県	2,197	276	58	2,232	306	57	35	2%	2,270
安芸	109	187	47	92	190	44	-17	-16%	73
中央	1,771	311	62	1,872	349	61	101	6%	1,983
高幡	107	161	44	85	151	40	-22	-21%	61
幡多	210	207	49	183	211	46	-27	-13%	153
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 39-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
高知県	21,999	276	74	19,815	272	75	-2,184	-10%	17,413
安芸	1,255	215	63	992	205	63	-263	-21%	703
中央	17,195	302	79	15,697	292	78	-1,498	-9%	14,049
高幡	1,164	175	56	1,043	186	59	-121	-10%	910
幡多	2,385	235	67	2,083	240	69	-302	-13%	1,751
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 39-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
高知県	9,715	122	64	9,323	128	68	-392	-4%	8,892	136
安芸	533	91	53	400	83	52	-133	-25%	254	63
中央	7,675	135	68	7,537	140	73	-138	-2%	7,385	150
高幡	461	69	45	377	67	46	-84	-18%	285	60
幡多	1,046	103	57	1,009	116	64	-37	-4%	968	130
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 39-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
高知県	8,080	76	75	6,698	54	78	-1,382	-17%	5,178	35
安芸	220	23	45	176	17	46	-44	-20%	128	11
中央	6,416	92	84	5,380	65	87	-1,036	-16%	4,240	41
高幡	485	42	56	448	35	62	-37	-8%	407	30
幡多	959	61	66	694	39	65	-265	-28%	403	20
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

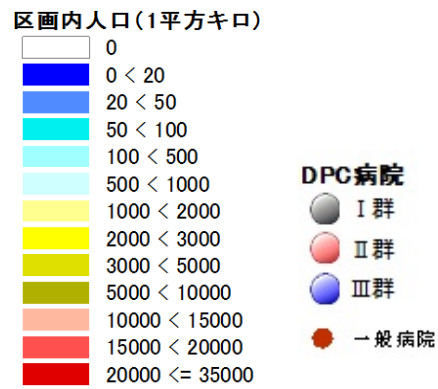
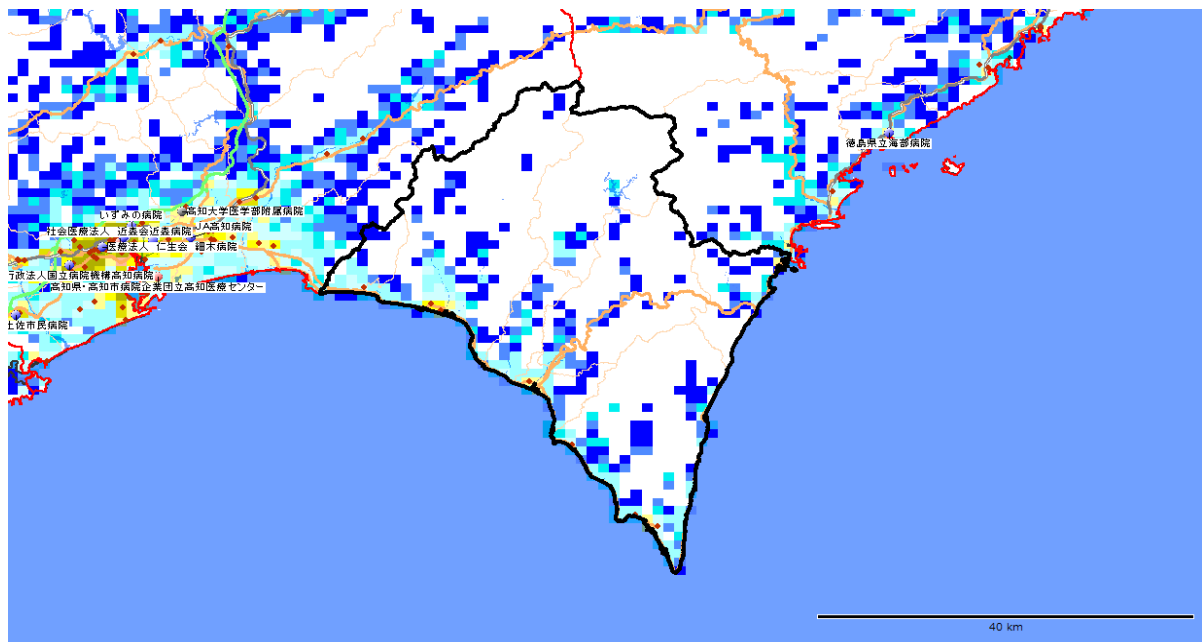
資_図表 39-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
高知県	1,176	70	1.232	712	75	1.484	435	49	0.997
安芸	1,198	71	1.268	663	71	1.403	508	66	1.155
中央	1,249	76	1.321	774	82	1.631	445	51	1.013
高幡	1,048	59	1.100	631	67	1.309	393	38	0.896
幡多	922	49	0.975	519	56	1.092	381	35	0.870
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

39-1. あ げ 安芸医療圏

構成市区町村⁹ [室戸市](#) [安芸市](#) [東洋町](#) [奈半利町](#)
[田野町](#) [安田町](#) [北川村](#) [馬路村](#)
[芸西村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(安芸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 安芸(室戸市)は、総人口約48千人(2015年)、面積1129km²、人口密度は43人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 安芸の総人口は2025年に41千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に30千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 安芸の一人当たり医療費(国保)は463千円(偏差値77)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 安芸の一人当たり急性期医療密度指数²は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数²は4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。安芸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は77で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 安芸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、978人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が666床(偏差値51)、高齢者住宅等が312床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、911人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム40、軽費ホーム74、グループホーム58、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、120人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(安芸医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

安芸医療圏の総人口は、2005年58340人が、2015年に48350人と17%減少し、2025年の人口が40549人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

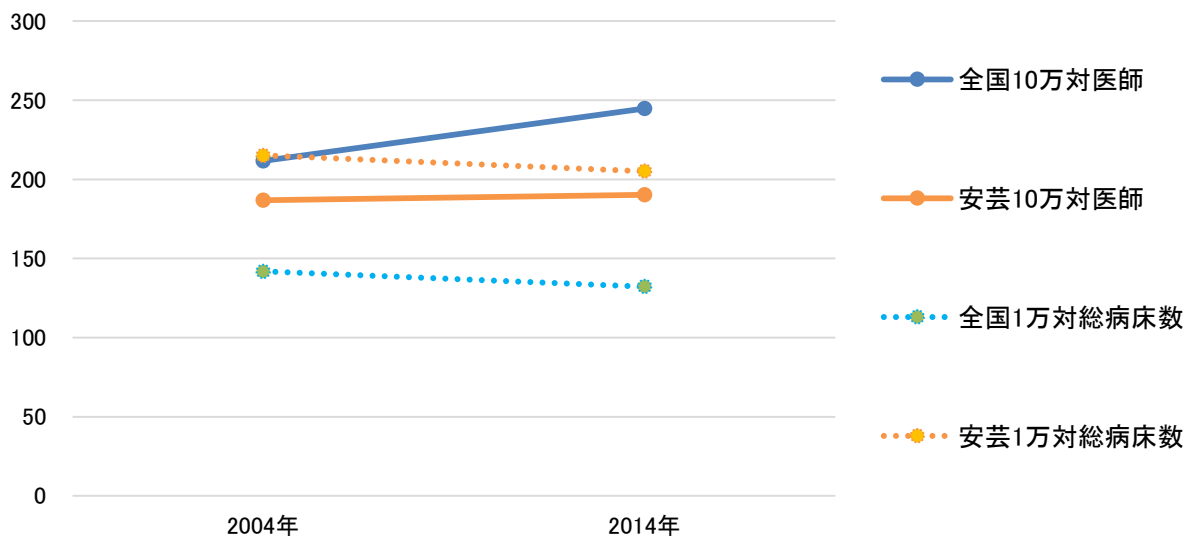
2004年の病院数が8(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に7(人口10万人当たり14.5病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が41(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に41(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1255床(人口1万人当たり215(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に992床(人口1万人当たり205(全国平均132)偏差値63)と、263床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

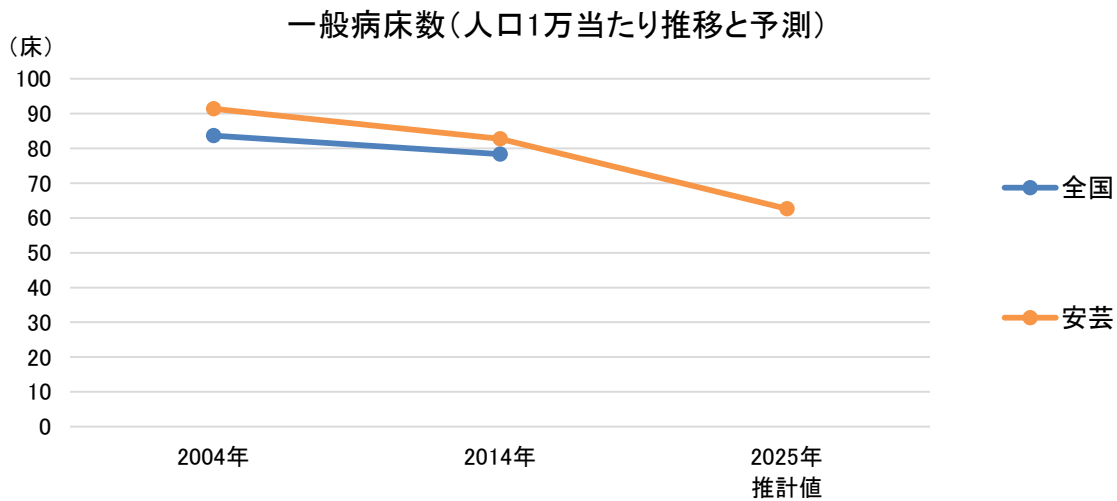
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が109人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に92人(人口10万人当たり190人(全国平均245人)偏差値44)と、17人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



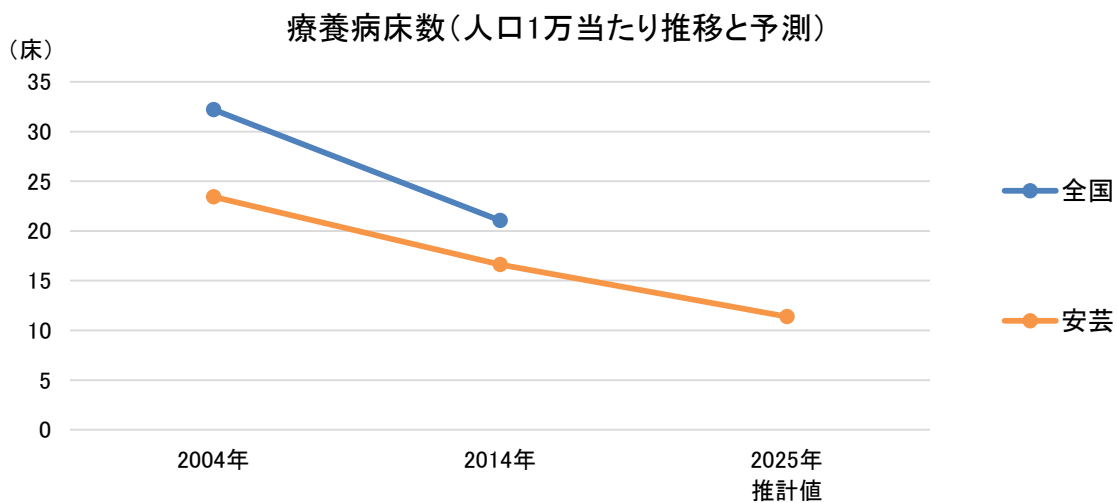
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が533床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に400床(人口1万人当たり83(全国平均78)偏差値52)と、133床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には254床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



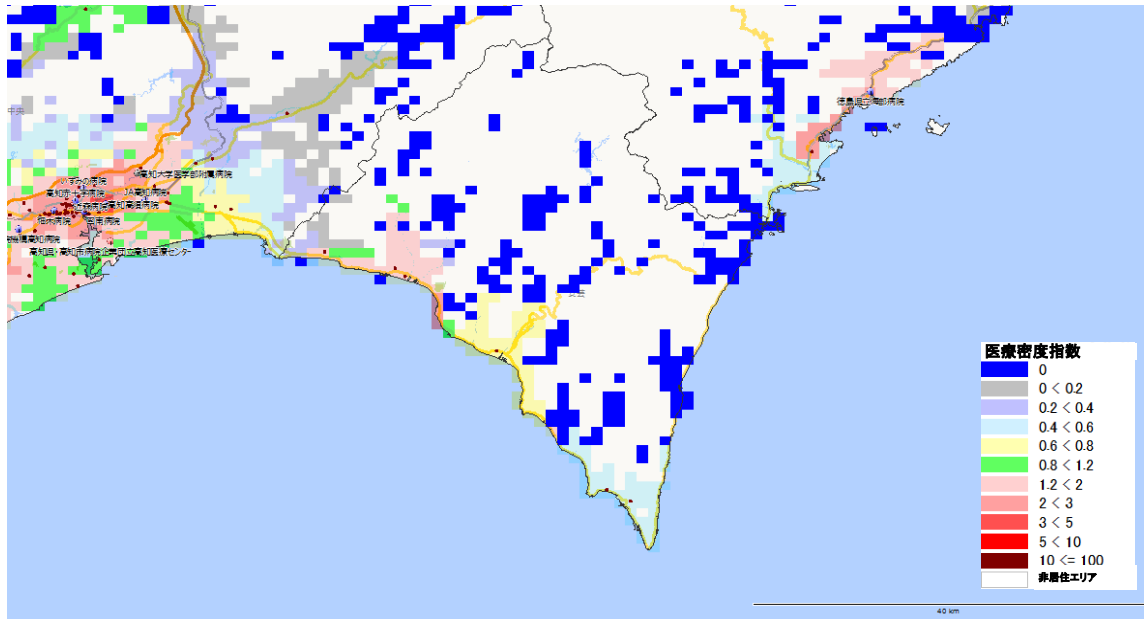
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が220床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に176床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、44床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には128床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



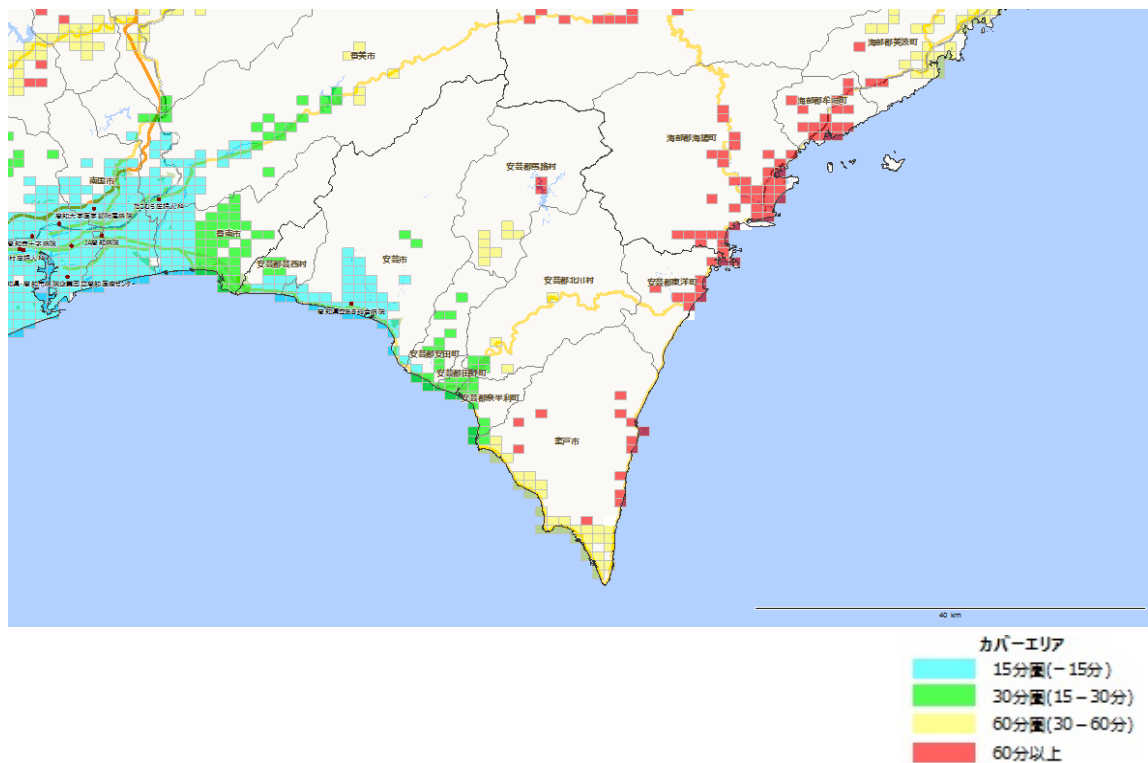
(安芸医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表39-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

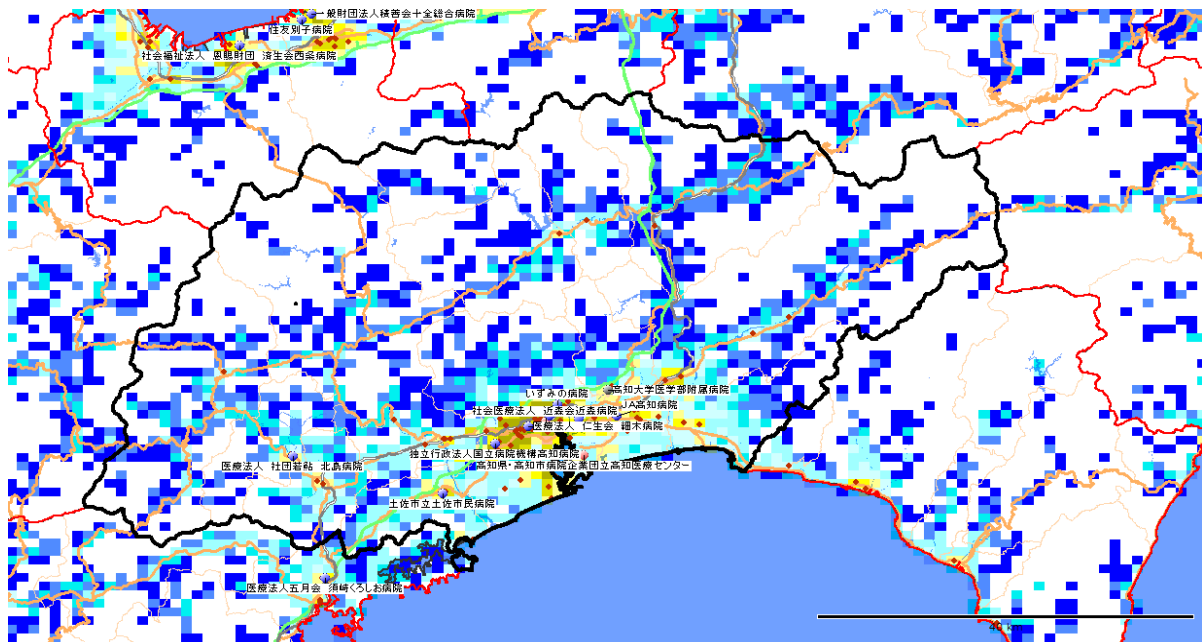
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



39-2. ちゅうおう 中央医療圏

構成市区町村 ⁹	高知市	南国市	土佐市	香南市
	香美市	本山町	大豊町	土佐町
	大川村	いの町	仁淀川町	佐川町
	越知町	且高村		

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中央(高知市)は、総人口約537千人(2015年)、面積3008km²、人口密度は178人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中央の総人口は2025年に492千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に415千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の83千人が、2025年にかけて104千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には99千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中央の一人当たり医療費(国保)は403千円(偏差値63)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中央の一人当たり急性期医療密度指数²は1.72、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.24で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が61(病院医師数67、診療所医師数45)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は77と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は71で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は63と多い。中央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の高知赤十字病院(Ⅱ群・救命)、高知医療センター(Ⅱ群・救命)、高知大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の国立病院機構高知病院(Ⅲ群)、近森病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は86と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値89と非常に多く、回復期病床数は偏差値72と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9108人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5425床(偏差値53)、高齢者住宅等が3683床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6982人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設90、有料老人ホーム43、軽費ホーム73、グループホーム64、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、933人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(中央医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中央医療圏の総人口は、2005年570302人が、2015年に536869人と6%減少し、2025年の人口が491685人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

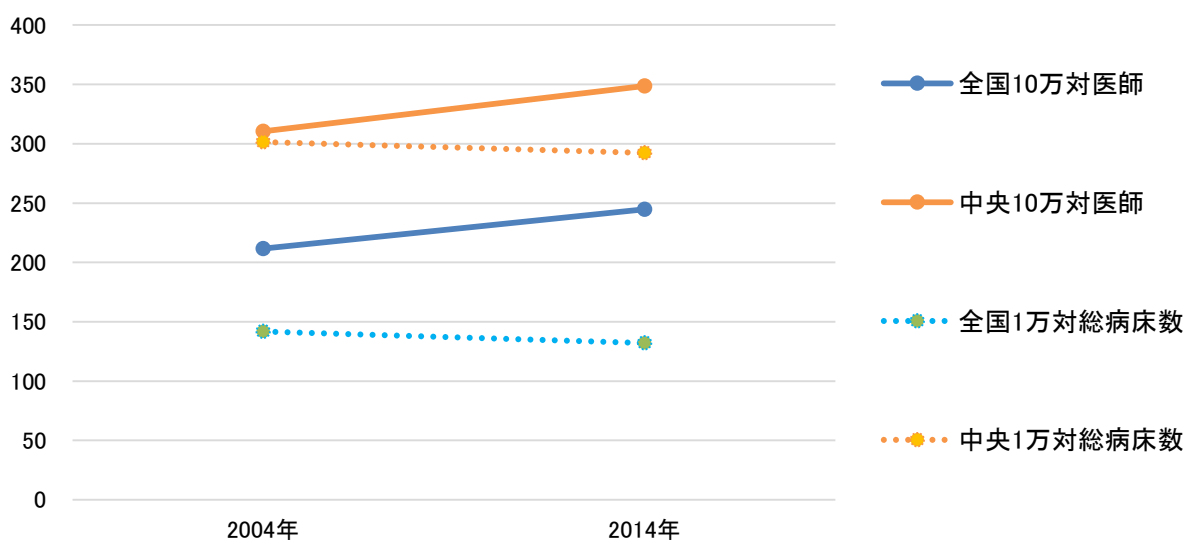
2004年の病院数が106(人口10万人当たり18.6病院(全国平均7.1)偏差値80)であったが、2014年に96(人口10万人当たり17.9病院(全国平均6.7)偏差値77)となり、10年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が437(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に422(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が17195床(人口1万人当たり302(全国平均142)偏差値79)であったが、2014年に15697床(人口1万人当たり292(全国平均132)偏差値78)と、1498床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

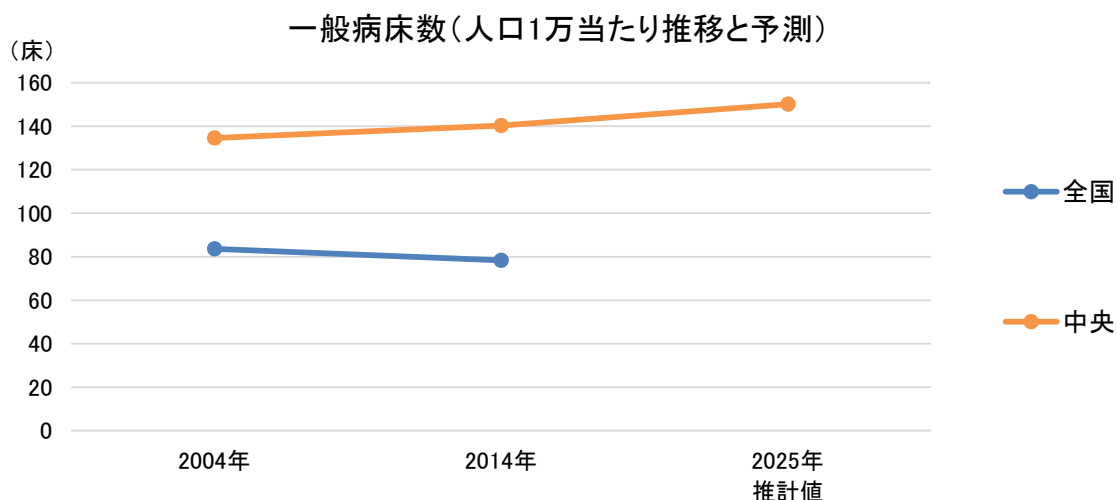
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1771人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2014年に1872人(人口10万人当たり349人(全国平均245人)偏差値61)と、101人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



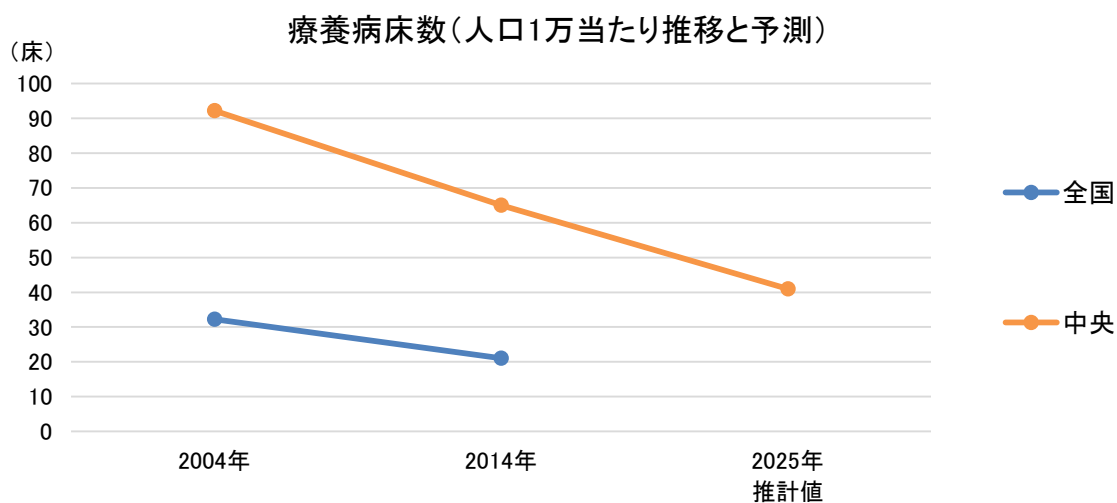
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7675床(人口1万人当たり135(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に7537床(人口1万人当たり140(全国平均78)偏差値73)と、138床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7385床(2025年の推計人口1万人当たり150)になることが予想される。



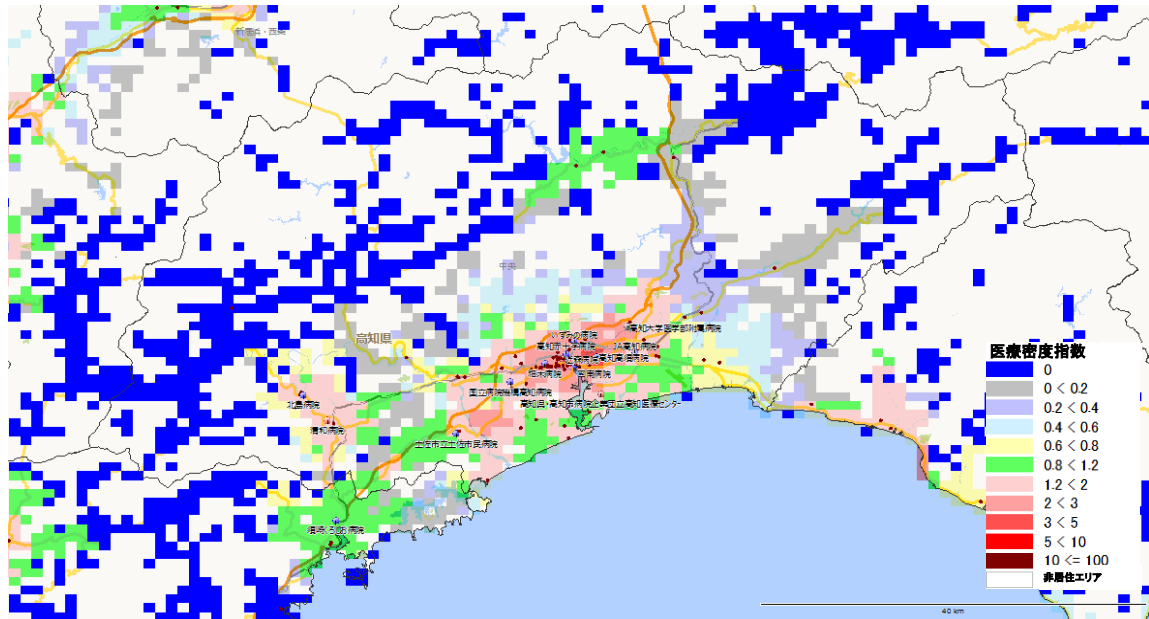
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6416床(75歳以上1000人当たり92(全国平均32)偏差値84)であったが、2014年に5380床(75歳以上1000人当たり65(全国平均21)偏差値87)と、1036床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4240床(2025年の推計75歳以上1000人当たり41)になることが予想される。



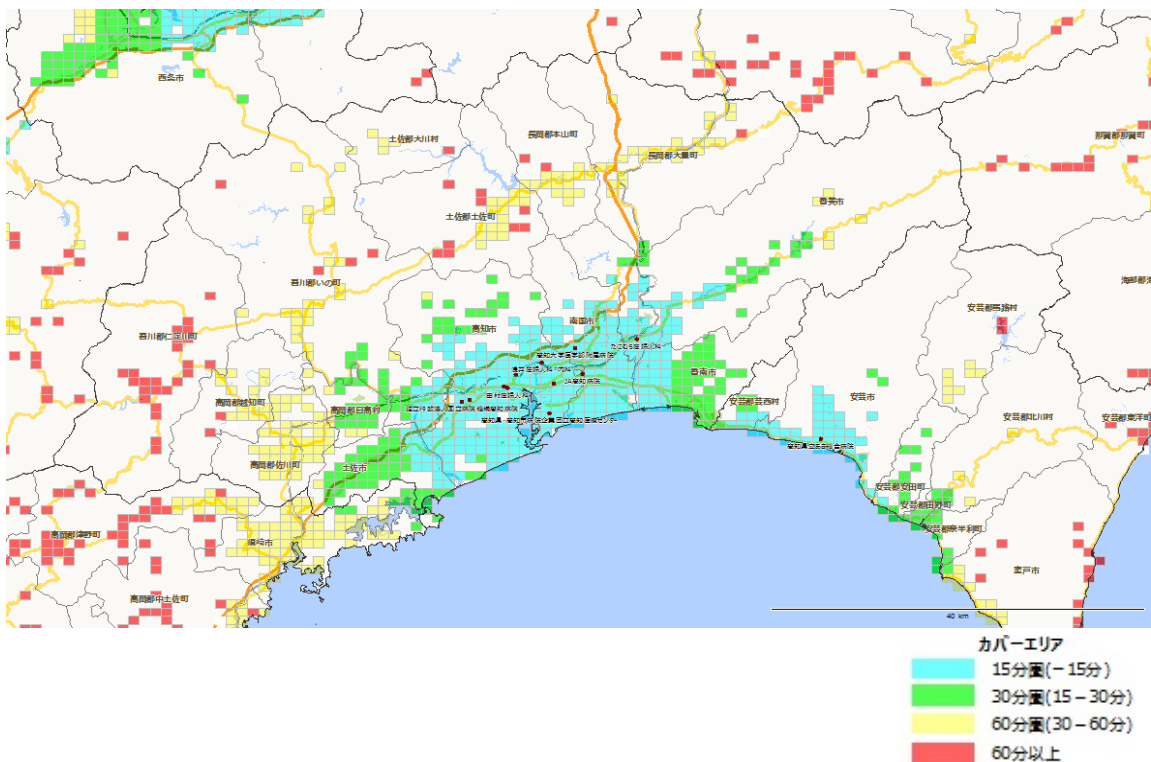
(中央医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表39-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

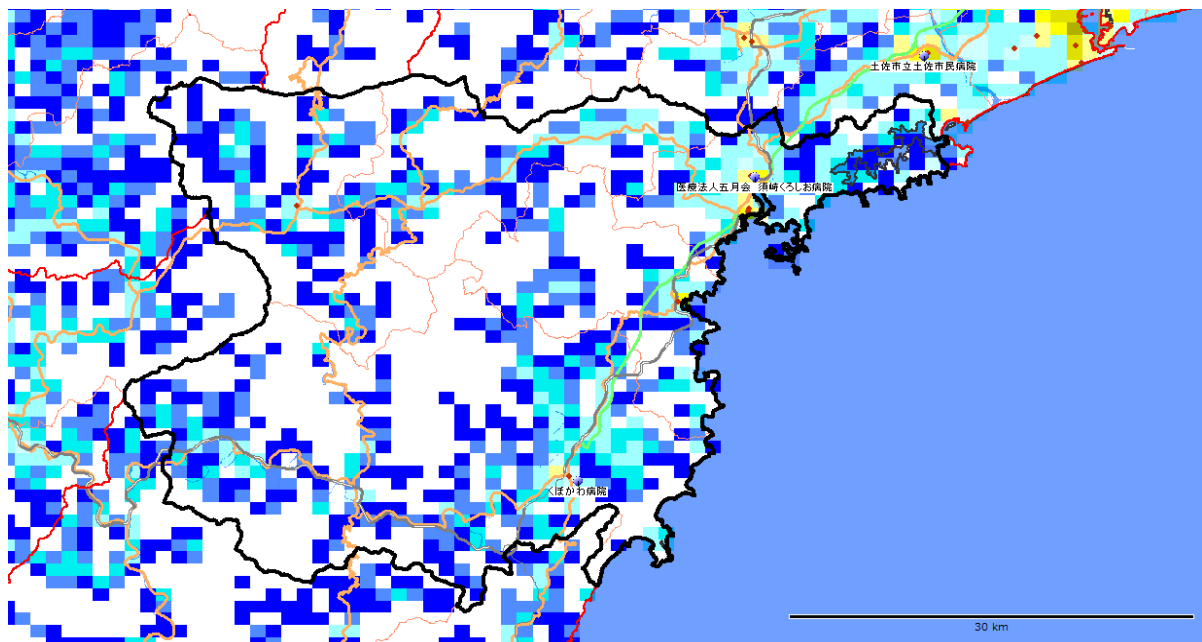
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



39-3. こうばん 高幡医療圏

構成市区町村⁹ [須崎市](#) [中土佐町](#) [梶原町](#) [津野町](#)
[四万十町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(高幡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高幡(須崎市)は、総人口約56千人(2015年)、面積1405km²、人口密度は40人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高幡の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高幡の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値60)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高幡の一人当たり急性期医療密度指数²は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.44で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。高幡には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高幡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1212人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が870床(偏差値55)、高齢者住宅等が342床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1006人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設67、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム69、グループホーム61、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値30と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、99人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(高幡医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

高幡医療圏の総人口は、2005年66373人が、2015年に56173人と15%減少し、2025年の人口が47794人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

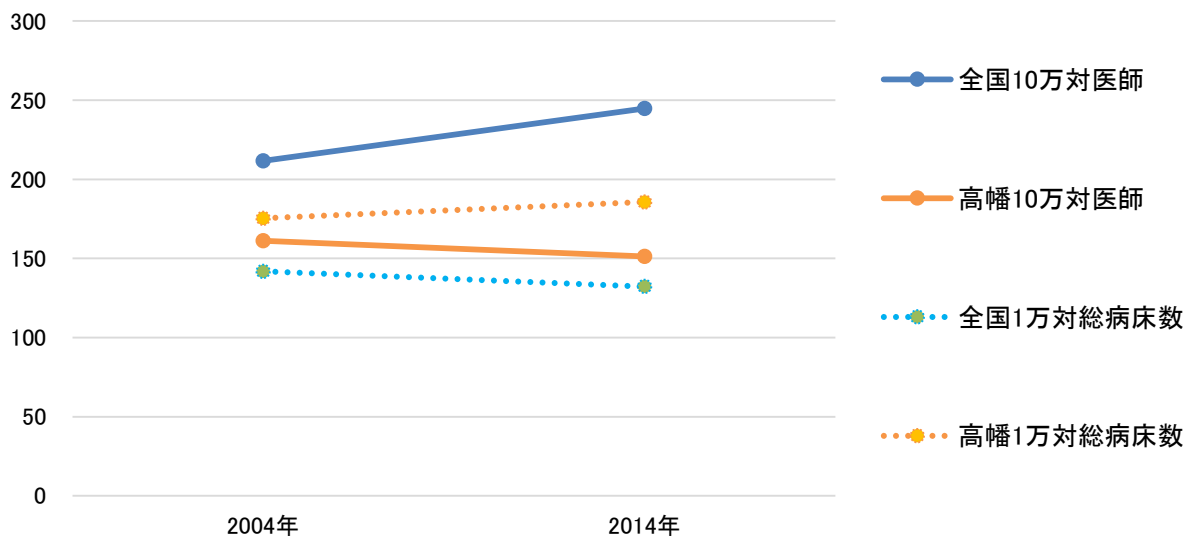
2004年の病院数が8(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に8(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が51(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に41(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が1164床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に1043床(人口1万人当たり186(全国平均132)偏差値59)と、121床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

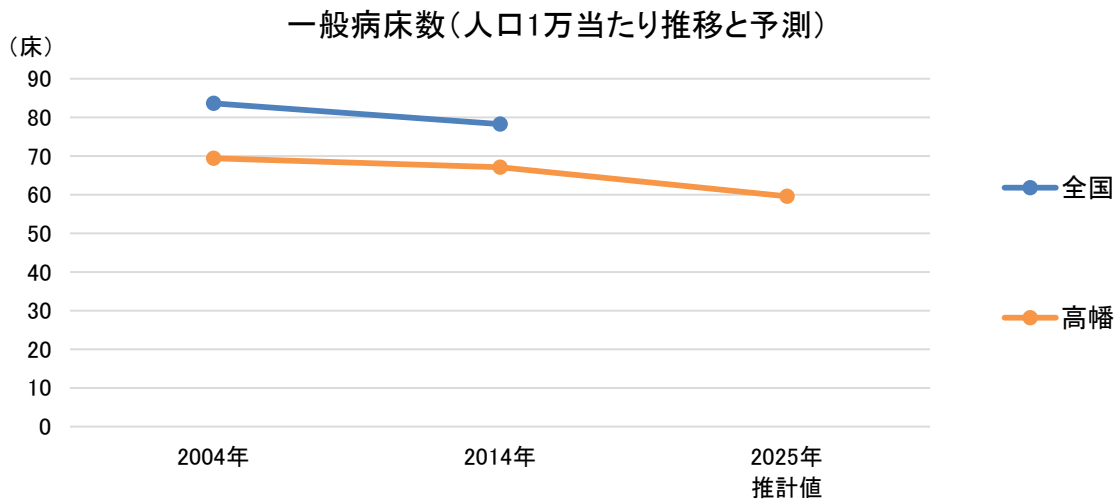
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が107人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に85人(人口10万人当たり151人(全国平均245人)偏差値40)と、22人の減少、率にして21%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



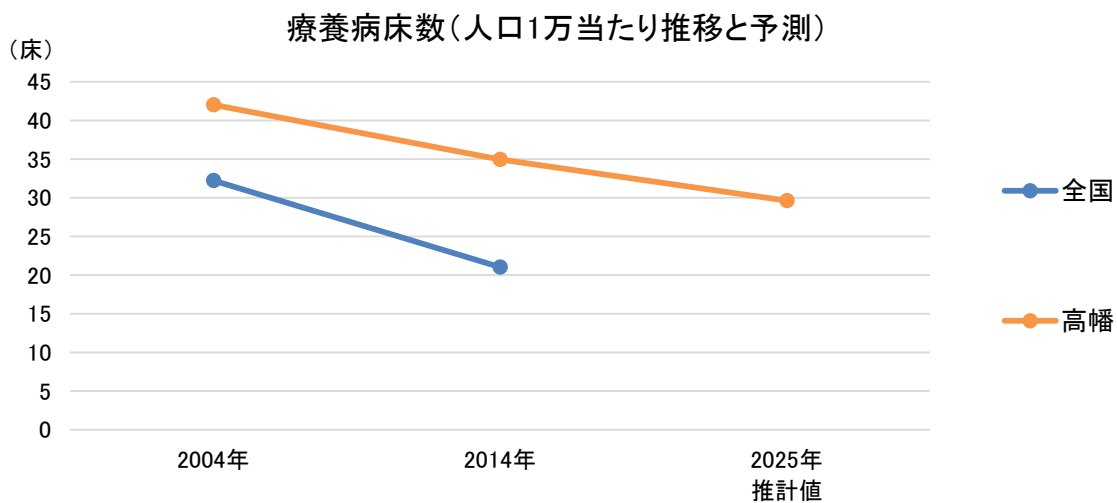
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が461床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に377床(人口1万人当たり67(全国平均78)偏差値46)と、84床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には285床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



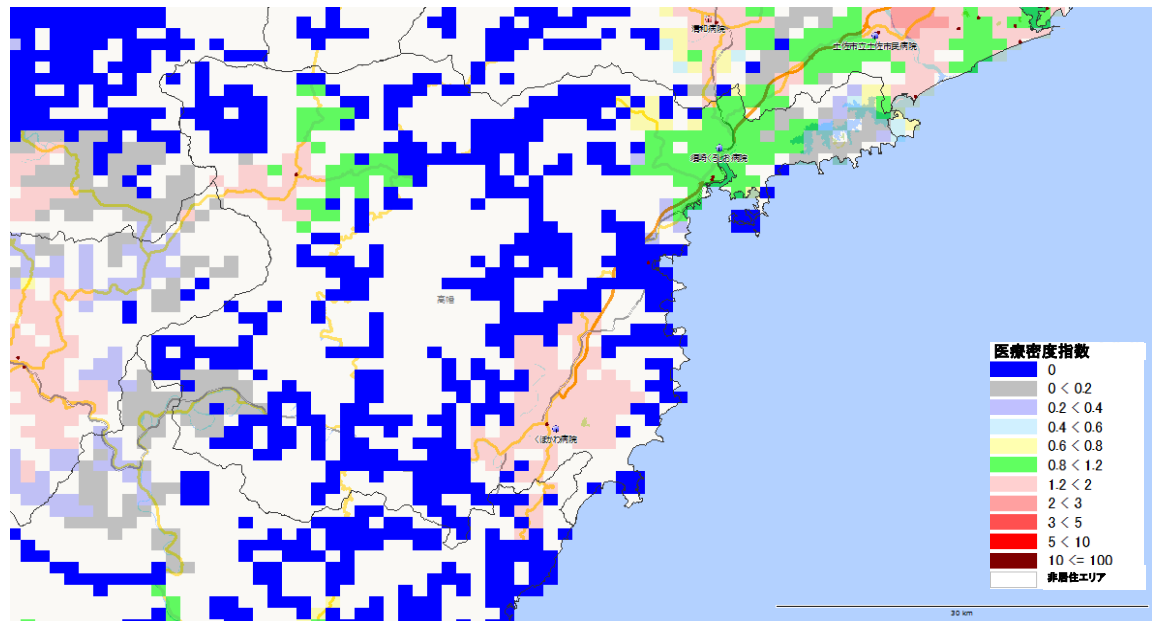
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が485床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に448床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、37床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には407床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。



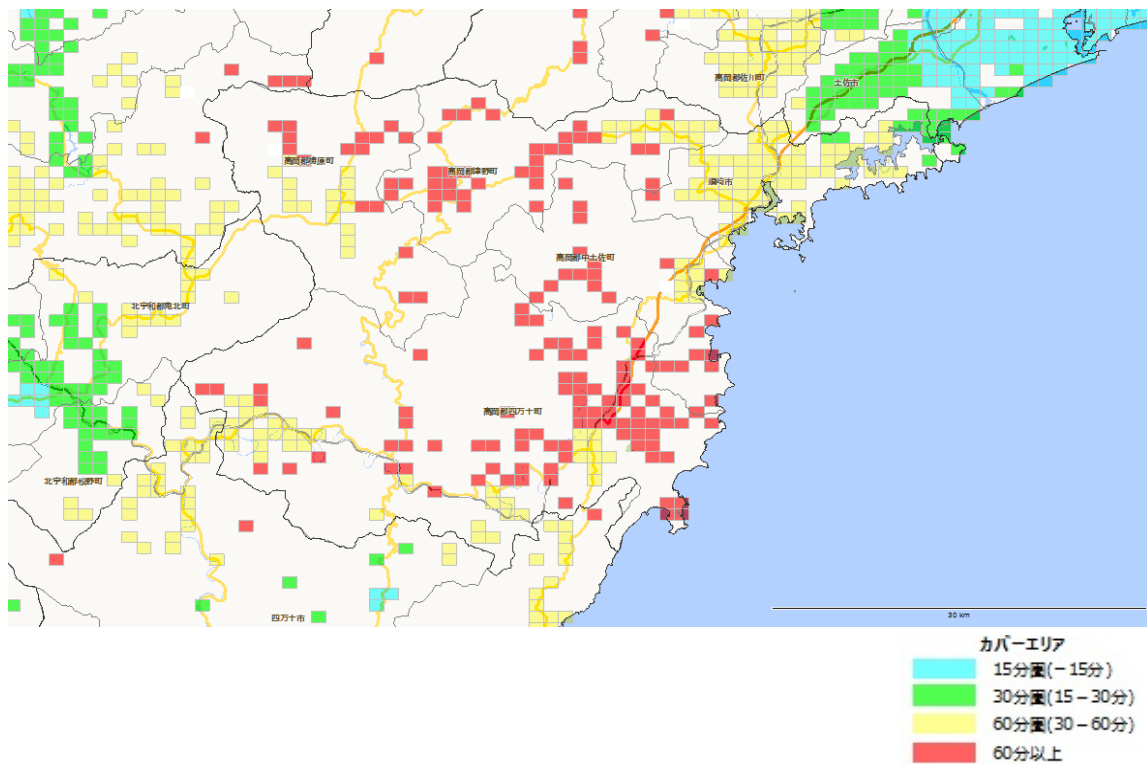
(高幡医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表39-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



39-4. はた 幡多医療圏

構成市区町村⁹

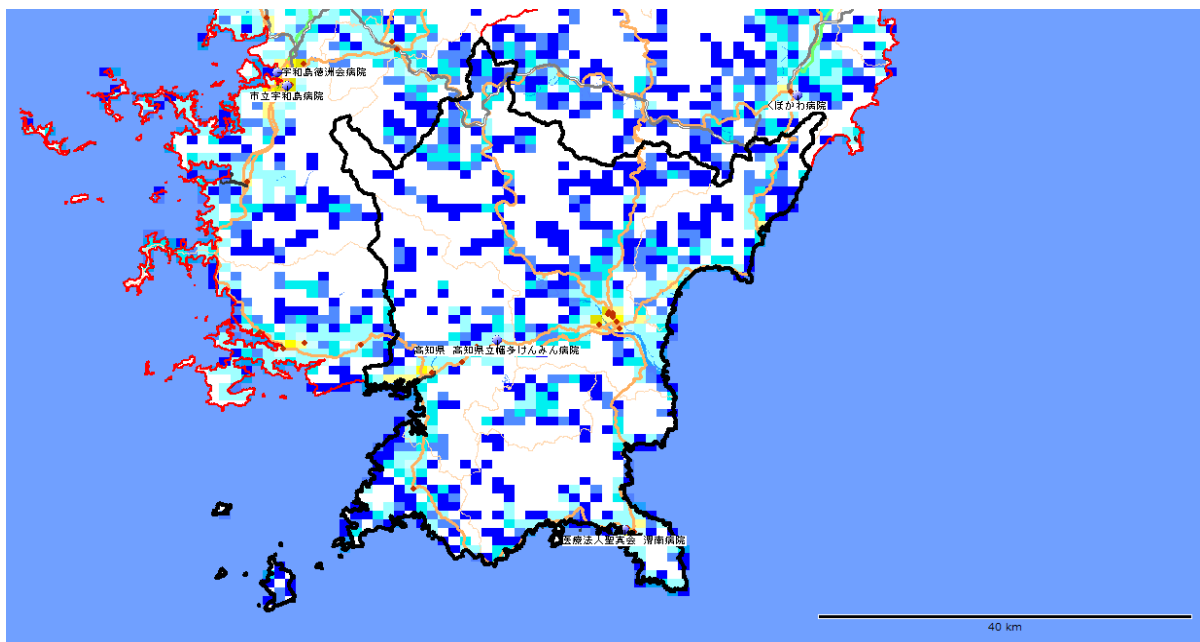
[宿毛市](#)
[三原村](#)

[土佐清水市](#)
[黒潮町](#)

[四万十市](#)

[太月町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(幡多医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 幡多(宿毛市)は、総人口約87千人(2015年)、面積1562km²、人口密度は56人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 幡多の総人口は2025年に75千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に56千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 幡多の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値55)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 幡多の一人当たり急性期医療密度指数2は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が47(病院医師数53、診療所医師数35)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。幡多には、年間全身麻酔件数が1000例以上の高知県立幡多けんみん病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 幡多の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2102人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1378床(偏差値63)、高齢者住宅等が724床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1730人(75歳以上1000人当たりの偏差値68)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設67、有料老人ホーム46、軽費ホーム91、グループホーム62、サ高住33である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、219人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(幡多医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

幡多医療圏の総人口は、2005年101277人が、2015年に86884人と14%減少し、2025年の人口が74713人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

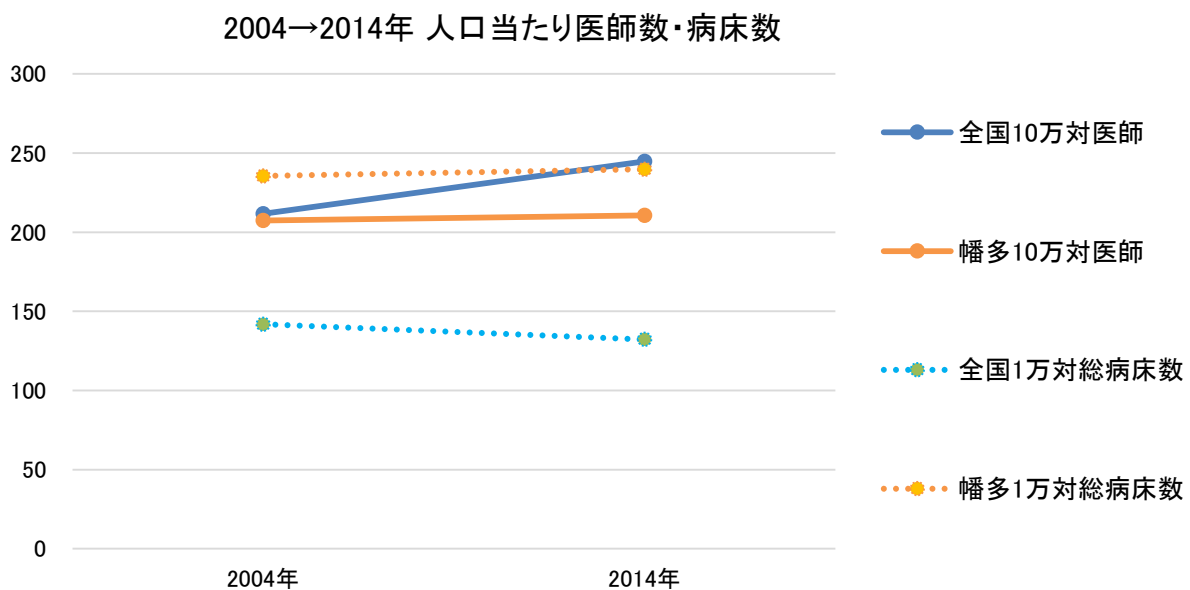
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が20(人口10万人当たり19.7病院(全国平均7.1)偏差値83)であったが、2014年に19(人口10万人当たり21.9病院(全国平均6.7)偏差値87)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に65(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、8診療所が減少した。

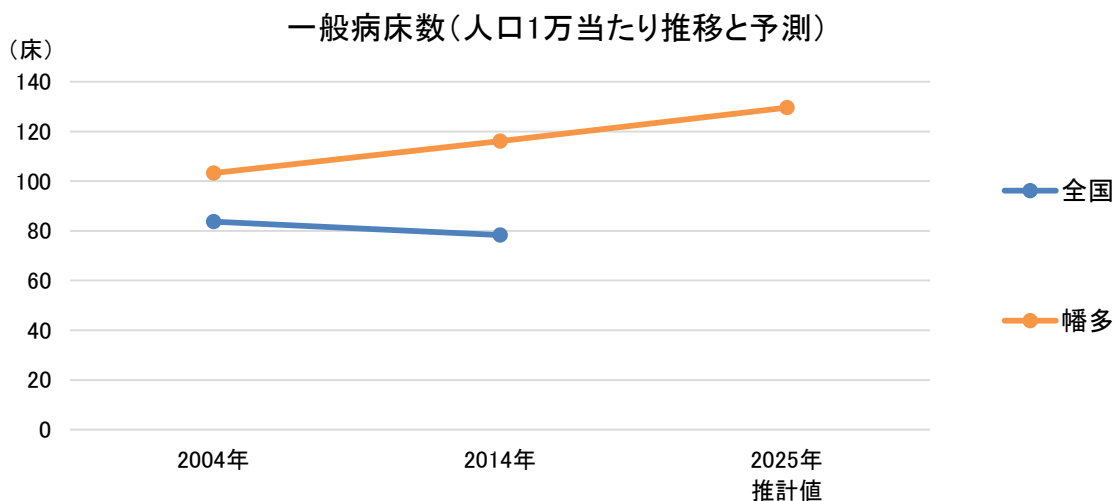
2004年の総病床数が2385床(人口1万人当たり235(全国平均142)偏差値67)であったが、2014年に2083床(人口1万人当たり240(全国平均132)偏差値69)と、302床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が210人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に183人(人口10万人当たり211人(全国平均245人)偏差値46)と、27人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



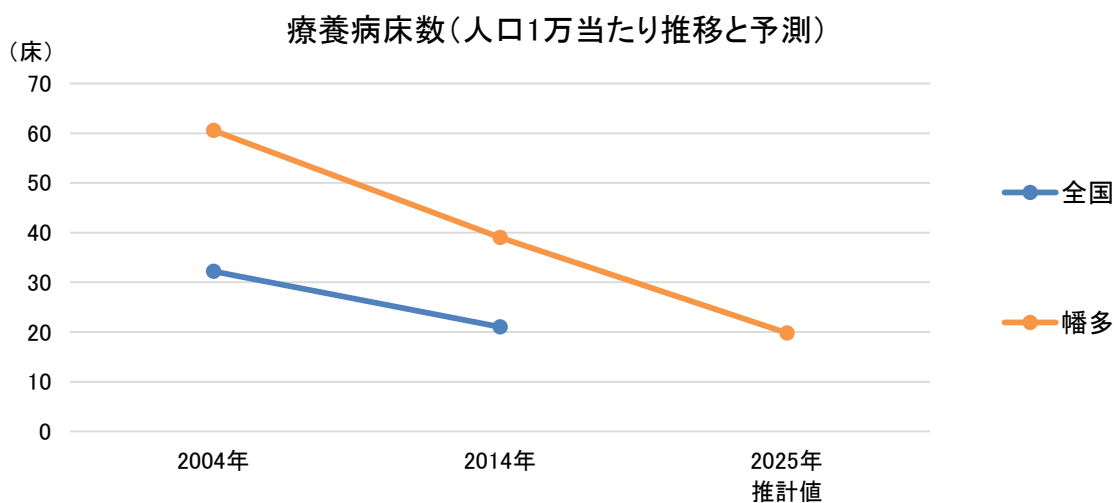
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1046床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1009床(人口1万人当たり116(全国平均78)偏差値64)と、37床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には968床(2025年の推計人口1万人当たり130)になることが予想される。



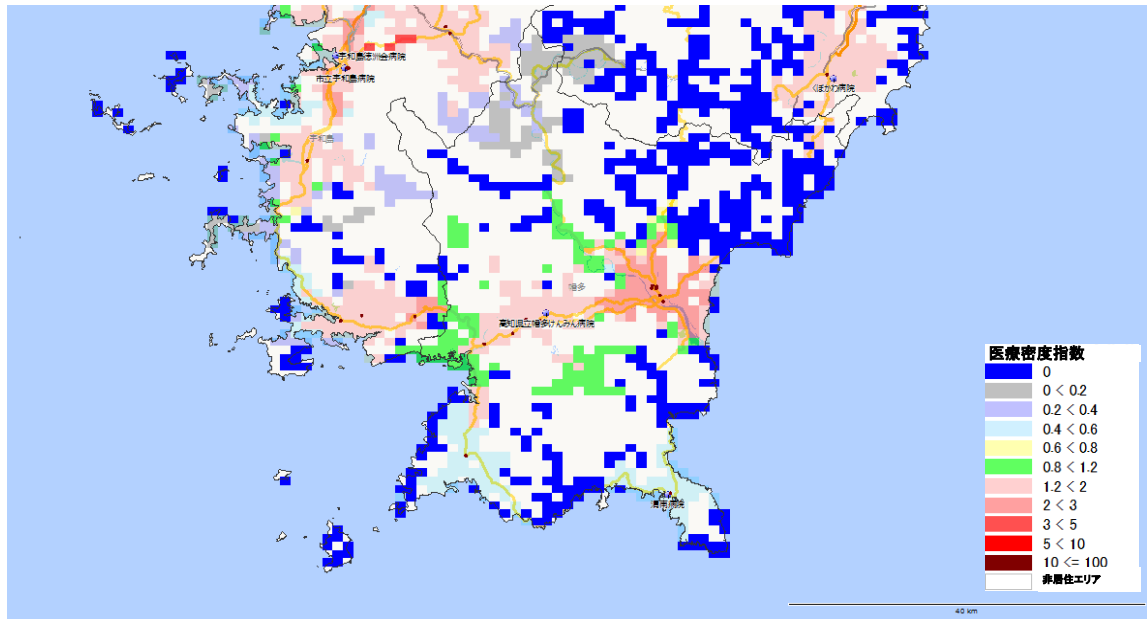
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が959床(75歳以上1000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に694床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、265床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には403床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



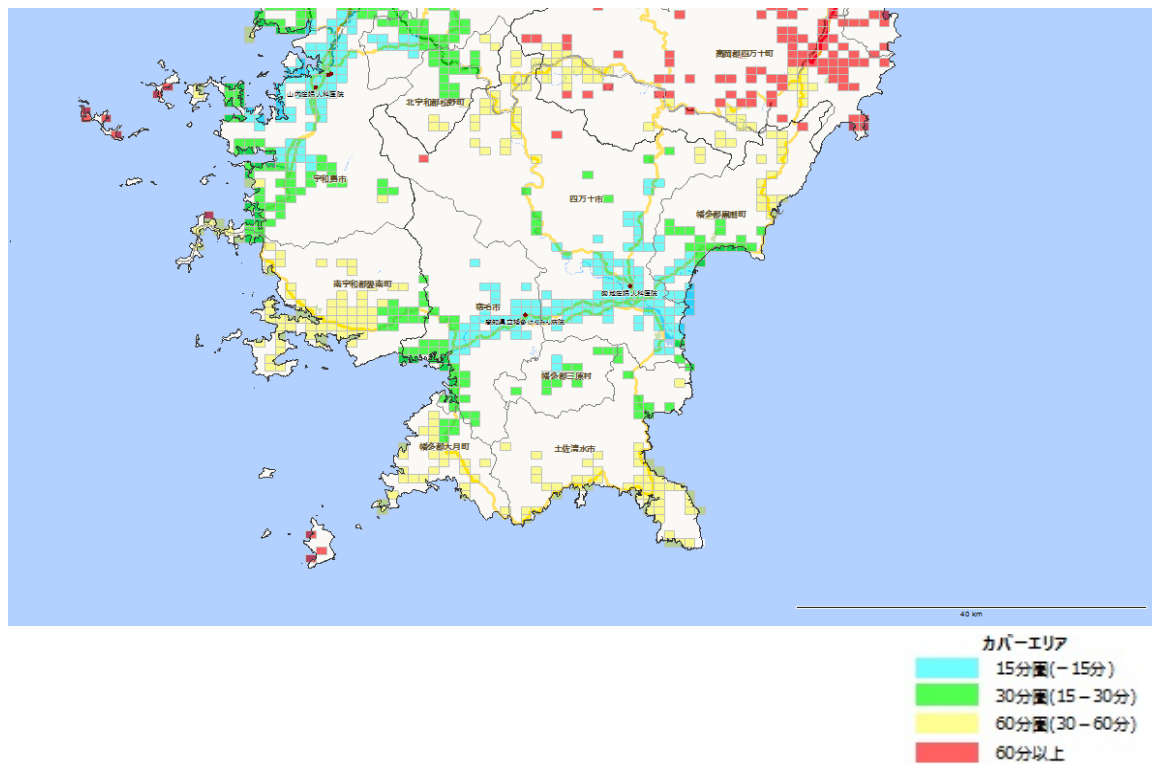
(幡多医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表39-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。